

「システム運用業務一式」調達仕様書に対する意見

No.	調達仕様書・委託要領・要件定義書	ページ	章	項番	仕様書（案）の記載内容	当該記載内容に対する意見又は質問	修正を要望する場合の修正案と理由	回答
1	委託要領	2	2. 委託条件	(2) ①統括管理責任者の設置	統括管理責任者は、情報システムに係るプロジェクト計画、推進及び管理等の業務経験を10年以上有し、全国規模のシステム運用事業において統括責任者としての経験を有していること又は、これと同等と評価できる能力を有する者であること。	記載内容にある「情報システムに係るプロジェクト計画、推進及び管理等の業務経験を10年以上有し、全国規模のシステム運用事業において統括責任者としての経験を有していること」について「業務経験を10年以上」及び、「全国規模のシステム運用事業」のご要件に關しまして緩和いただく事は可能でしょうか？	修正案：統括管理責任者は、情報システムに係るプロジェクト計画、推進及び管理等の業務経験を十分に有し、大規模のシステム運用事業において統括責任者としての経験を有していること又は、これと同等と評価できる能力を有する者であること。 理由：業務経験期間やエリアの規模間を限定せずに広く評価できる能力を有するものをアサインする事を検討したため。	仕様書のとおりとします。
2	委託要領	6	2. 委託条件	(7) ②ア品質管理責任者の設置	システム開発等の情報処理業務の経験年数を10年以上有すること。	記載内容にある「システム開発等の情報処理業務の経験年数を10年以上有すること」について、ご要件を緩和いただくことは可能でしょうか？	修正案：「ア」を削除。 理由：本案件はシステム運用業務の調達となっており、システム開発経験等は必須としてしまう事により、アサイン可能なりソースの幅を狭めてしまうため。	仕様書のとおりとします。
3	委託要領	9	2. 委託条件	(10)	作業場所については、原則として協会が指定する作業場所等業務を実施すること	協会本部（都内）、運用監視センター（現在は都内にあるが今後も都内の想定）、東日本データセンター（神奈川県）、西日本データセンター（広島県）の具体的な所在地を開示いただくことは可能でしょうか？	－	契約締結後に開示します。
4	委託要領	21	8. 留意事項	(4)⑨	協会は、受託者が情報の漏えい、委託業務の遅延、不履行、物品の誤配送、粗悪な品質等、受託者の責に帰する事由により協会に損害を与えた場合受託者の契約違反が判明した場合には、契約解除、一定期間の氏名停止等の処分を行うとともに、損害賠償請求を行うことがあるので注意すること。	「損害賠償請求を行うことがあるので注意すること」とあるが上限金額の考え方について開示いただくことは可能でしょうか？	－	開示はできません。
5	調達仕様書	2-1	2.2 システム稼働時間	表2-1及び注記	システム稼働時間は原則24時間365日とし、年数回の計画停止を実施する。サービス別の提供時間、夜間パッチ、定期メンテナンス等の除外時間を定める。	年数回の計画停止の頻度をご教示ください。 計画停止のフローや手順はございますでしょうか。	－	通常は年2回、法定停電時と年末年始のシステム停止期間です。
6	調達仕様書	1-10	1章	1.7	項番4：第4世代 時期：令和12年1月	表1-5、主要マイルストーンに第4世代と記載されていますが、今回の契約期間は令和11年12月31日までであることから、今回の調達において第4世代の受け入れは本調達には含まれない認識でよろしいでしょうか。 (次々期の調達に含まれる想定)	委託業務における作業スコープを明確にするため、本調達の対象となるか対象外となるか追記をお願いいたします。	第4世代の受け入れは本調達には含まませんが、情報提供等の協力を依頼する場合があります。
7	調達仕様書	2-1	2章	2.2	※5 令和9年1月より6時00分～翌日3時00分（第3土曜を含むを除く）に提供時間帯が変更となる想定です	「第3土曜を含むを除く」となっていますが、こちらは「第3土曜を含む」「第3土曜を除く」のどちらなのか、わからない状態となっております。	「第3土曜を含む」または「第3土曜を除く」に修正をお願いいたします。	誤植となります。ご指摘を踏まえて、仕様書を修正します。 <修正内容> (第3日曜日を含む土日、年末年始はサービス停止)

「システム運用業務一式」調達仕様書に対する意見

No.	調達仕様書・委託要領・要件定義書	ページ	章	項番	仕様書（案）の記載内容	当該記載内容に対する意見又は質問	修正を要望する場合の修正案と理由	回答
8	調達仕様書	3-6	3章	3.4	アプリケーション改修等の対応に伴う支援 アプリケーション改修及び新規システム開発プロジェクト、基盤製品の追加及び更改が発生した場合は、必要に応じて以下作業を実施すること。	アプリケーション改修及び新規システム開発プロジェクト、基盤製品の追加及び更改においては、運用開始に向けた準備や関係事業者との調整・情報共有が必要となる場合があります。改修等に伴う運用対応の内容をより明確にする観点から、必要に応じて本項への追記をご検討をお願いいたします。	改修等に伴う運用対応の内容をより明確にするため。 追記（案） 以下の下線箇所 ----- アプリケーション改修及び新規システム開発プロジェクト、基盤製品の追加及び更改が発生した場合は、必要に応じて以下作業を実施すること。 <u>また、各事業者と適宜連携をとり、改修等に対し体制を整え対応すること。</u> -----	貴重なご意見として賜ります。
9	調達仕様書	3-6	3章	3.4	(1) 運用テスト計画策定／運用テスト等の実施運用 (2) 運用マニュアルの改訂に伴う引き継ぎ	該当箇所の記載について、リード文と本文の改行が崩れているように見えます。ご確認ください、必要に応じて修正をお願いいたします。	修正（案） ----- (1) 運用テスト計画策定／運用テスト等の実施運用 運用テスト計画書やテスト仕様書の作成・・・(省略) (2) 運用マニュアルの改訂に伴う引き継ぎ 既存の運用マニュアルが改訂された場合・・・(省略) -----	誤植となります。ご指摘を踏まえて仕様書を修正します。
10	作業一覧	3/7 (ページ)	-	35	ジョブの走行状況を確認し、問題が発生した場合は、停止・調整・再実行等を行う	情報システムにおけるジョブ走行状況の確認においては、現状では協会様にて導入されている運用監視端末ではなく、運用事業者にて準備している端末および回線で実施しております。 現行運用の状況も踏まえて、運用事業者が変更した場合、準備が必要となることが想定されるため備考等に補足いただくのはいかがでしょうか。	現状を踏まえて、以下の文言を備考欄に追加するのはいかがでしょうか。 ----- 参考として、現状では情報システムのジョブ走行状況確認では、受託者側で準備した端末及び回線（冗長化）を利用して運用している -----	貴重なご意見として賜ります。
11	評価項目一覧及び採点表	-	-	2.7	本業務において重点的に管理すべき問い合わせ等について想定される発生事象を特定し、問い合わせ量に応じて、業務への影響を生じさせないようなリスク対策が具体的に提案されているか。	評価項目において「重点的に管理すべき問い合わせ」及び「問い合わせ量」が記載されておりますが、システム運用において重要となる障害管理・障害対応についても評価観点として明示いただくことで、事業者の運用品質をより適切に評価できるものと考えます。	システム運用における障害対応を評価対象とされるかご検討をお願いいたします。	貴重なご意見として賜ります。
12	調達仕様書	P3-4	3	2	(1)セキュリティに関する情報収集や脅威に対する分析を行い、定期的に協会に報告を行うこと	脅威分析の対象とする情報・システムの範囲、および協会への報告対象とする脅威の判断基準（重要度・影響度等）をご教示ください。	脅威分析の対象範囲および報告基準を明記いただきたい。 分析範囲および報告基準により、必要な専門体制・工数が異なるため。	「協会情報セキュリティ規程」に記載があります。 「協会情報セキュリティ規程」については契約締結後、開示予定です。
13	調達仕様書	P3-4	3	2	(3)システム改修等が発生した場合に、改修要件等について、セキュリティ観点での確認を行い、対策支援を行うこと	セキュリティ観点での確認および対策支援について、受託者に求められる具体的な実施内容（確認対象、確認方法、成果物、関係者との役割分担）をご教示ください。	セキュリティ観点での確認項目、支援範囲および成果物を明記いただきたい。 設計レビュー、リスク分析、対策立案等の実施範囲により、必要なスキル・工数が異なるため。	「協会情報セキュリティ規程」に準拠しているかの確認および関連事業者と連携して必要な対策支援を実施してください。

「システム運用業務一式」調達仕様書に対する意見

No.	調達仕様書・委託要領・要件定義書	ページ	章	項番	仕様書（案）の記載内容	当該記載内容に対する意見又は質問	修正を要望する場合の修正案と理由	回答
14	調達仕様書	P3-4	3	2	(4)ベネトレーションテストを円滑に実施するための対応を行うこと	受託者に求められる対応範囲は、日程調整等の事務局運営まででしょうか。それとも、テスト方針・内容の検討支援や結果確認まで含まれるでしょうか。具体的な実施範囲をご教示ください。	ベネトレーションテストにおける受託者の実施範囲および成果物を明記いただきたい。 専門的なセキュリティ評価業務の有無により、必要な体制・工数が異なるため。	計画段階より参画いただき、ベネトレーションテストが円滑に実施できるための事前準備、テスト環境構築およびテスト実施時の対応を実施してください。
15	調達仕様書	P3-5	3	3	(4)恒久的な対応策を提案すること	恒久対策の提案について、受託者に求められる実施範囲（原因分析、対策案の策定、関係事業者との調整、実施後の効果確認等）、ならびに立案・承認の主体をご教示ください。	恒久対策に係る受託者の実施範囲、立案主体および承認主体を明記いただきたい。 対策内容によっては、システム設計や製品に関する専門知識・追加工数が必要となるため。	関連事業者と協力して、能動的に恒久的な対応策を提案してください。
16	作業一覧	1	共有	16	協会支援 協会職員から依頼事項等についての対応を行う。	「依頼事項等」として想定される具体的な業務内容、対応頻度、想定件数・工数および対応時間帯をご教示ください。	支援対象となる業務、対応頻度、想定件数・工数および対応時間帯を明記いただきたい。 受託範囲および見積条件を明確にするため。	定例業務ではないため、総定数は設けておりません。 依頼ごとに対応内容や所要時間が異なることから対応時間についても一律のご提示はできません。 一例としては、システム監査時の情報提供等を依頼しています。
17	作業一覧	2	基盤運用	10	Microsoft更新プログラムインポート作業 マイナンバー管理システムのWSUSに対し、Microsoft更新プログラムのインポート作業を行う。	Microsoft更新プログラムの選定、影響評価および適用可否の判断は、受託者の実施範囲に含まれるでしょうか。各作業の実施主体および承認主体をご教示ください。	Microsoft更新プログラムの選定、影響評価、適用可否判断およびインポート作業について、各作業の実施主体・承認主体ならびに受託者の実施範囲を明記いただきたい。 受託者の責任範囲および必要工数を適切に見積もるため。	Microsoftの更新プログラムの選定、影響可否、適用可否は基盤運用の役務に含まれません。 更新プログラムをWSUSサーバへインポートする作業となります。 本番環境 3～5時間、保守環境 4～5時間
18	作業一覧	2	基盤運用	23	セキュリティアラート確認作業 各種セキュリティ対策製品から発報されるアラートの確認を行う。	受託者に求められる対応範囲は、アラートの一次確認、初動切り分けおよび関係者へのエスカレーションまででしょうか。詳細分析、影響判断および対策検討を含む場合は、その範囲もご教示ください。	アラートの一次確認、初動切り分け、詳細分析、影響判断およびエスカレーションに係る役割分担を明記いただきたい。 関係者間の責任分界を明確にし、適切な実施体制を構築するため。	基盤運用は一時確認、初動切り分け、エスカレーション、セキュリティ統括は詳細分析、影響判断、および対策検討を実施します。なお、対策検討にあたっては保守事業者と連携して実施します。
19	作業一覧	3	基盤運用	38	バックアップ/リストア作業 各種データ、設定情報のバックアップ/リストア作業を行う。（バックアップは自動処理で取得するが、異常が発生した場合、手動でバックアップ/リストアを行う。）	手動によるリストアを実施する際の実行条件、判断主体、承認者および承認フローをご教示ください。また、標準手順書の提供有無についてもご教示ください。	リストアの実行条件、判断主体、承認者、承認フローおよび標準手順書の提供有無を明記いただきたい。 データ消失等の重大な影響を伴う作業であり、責任分界を明確にする必要があるため。	インシデントや障害等を起因として、協会で実施可否を判断し、作業依頼します。運用マニュアルは契約締結後に開示します。
20	作業一覧	3	基盤運用	39	バックアップメディア管理 バックアップメディア（LTOテープ）にバックアップしたメディアの入れ替え、クリーニング、搬送のための保管等、管理を行う。	バックアップメディアの入れ替え、クリーニングおよび搬送に係る保管等について、実施場所、現地対応の要否、対応時間帯ならびに年間想定件数をご教示ください。	現地作業場所、現地対応の要否、対応時間帯および年間想定件数を明記いただきたい。 移動工数および要員配置の前提を明確にするため。	運行監視室の作業は、2ケ月に1回（2時間）の作業となります。また、東日本DCの作業は、1か月に1回（5～6時間）の作業となります。

「システム運用業務一式」調達仕様書に対する意見

No.	調達仕様書・委託要領・要件定義書	ページ	章	項番	仕様書（案）の記載内容	当該記載内容に対する意見又は質問	修正を要望する場合の修正案と理由	回答
21	作業一覧	3	基盤運用	42	災対環境切り替え／切り戻し作業 災害発生時、災対環境への切り替えを実施する。	災対環境への切替え・切戻しについて、災害宣言、実施判断、承認および作業実施の各主体をご教示ください。	災対環境への切替え・切戻しに係る判断主体、承認者、受託者の実施範囲および連絡・指示系統を明記いただきたい。 BCP発動時の責任分界を明確にするため。	協会で実施可否を判断し、作業依頼します。
22	作業一覧	3	基盤運用	47	ネットワーク遮断／端末隔離作業 ネットワーク遮断／端末隔離を行う。	ネットワーク遮断および端末隔離について、実施判断、承認取得、作業実施および解除判断の各主体をご教示ください。	ネットワーク遮断および端末隔離に係る判断主体、承認者、受託者の実施範囲ならびに解除手順を明記いただきたい。 受託者の責任範囲および必要な体制・工数を適切に見積もるため。	協会で実施可否を判断し、作業依頼します。
23	作業一覧	3	基盤運用	65	媒体持ち出し／持ち込み作業 媒体の持ち込み／持ち込みの対応を行う。	媒体の持出し・持込みに係る作業について、実施場所、現地対応の要否、対応時間帯および年間想定件数をご教示ください。	現地作業場所、現地対応の要否、対応時間帯および年間想定件数を明記いただきたい。 移動工数および要員配置の前提を明確にするため。	実施回数は40～50回/月です。 対応時間は30分～1時間/程度です。 作業場所は、運行監視室です。
24	作業一覧	4	基盤運用	71	運用監視センター定期点検対応作業 運用監視センターにおける定期点検の伴う停電時の計画を立案し、対応を行う。当日は、運用監視センター以外での運用作業の実施やシステム機器の停止／起動等を行う。	運用監視センターの定期点検に伴う停電について、年間の実施回数、想定時間帯および停電時間をご教示ください。また、当日に受託者が実施する作業内容、代替の運用場所ならびに各拠点で必要となる対応をご教示ください。	定期点検の実施回数・時間帯・停電時間、当日の実施作業、代替の運用場所および各拠点での対応内容を明記いただきたい。 年次イベント時の必要体制・工数を算出するため。	ビル側の判断により実施が決定されるため、実施回数、時期は変動します。 R8年度については、ビルの法定点検は8/16 6:00-25:00に実施され、運行監視センターのシステムの停止は、8/14 19:00-8/17 4:30で実施しました。 基盤運用事業者にて、運用監視センターに設置のサーバー、ネットワーク機器等を実施、システム停止期間中は東日本DCで代替運用を実施しました。
25	作業一覧	6	セキュリティ統括	1	脆弱性情報の収集管理 各システムの構成情報に基づき、国内外で公開される脆弱性情報を継続的に収集する。協会システムに該当する脆弱性についてリスク評価を実施し、脆弱性情報を一元管理する。	脆弱性情報の評価および協会への報告に係る基準は、受託者が策定する想定でしょうか。それとも、協会が定める基準に基づき運用する想定でしょうか。基準の策定主体、承認主体および運用主体をご教示ください。	脆弱性情報の評価・報告基準について、策定主体、承認主体および運用主体を明記いただきたい。 関係者間の役割分担ならびに業務実施範囲・見積前提を明確にするため。	協会システムの構成情報および契約締結後にお渡しする「協会情報セキュリティ規程」に基づき、受託者にて策定し、脆弱性情報を報告いただきます。
26	作業一覧	7	セキュリティ統括	18	セキュリティインシデント対応訓練支援 協会CSIRT及び厚生労働省とのセキュリティインシデント発生を想定した連携訓練への対応、協会への支援を実施する。	セキュリティインシデント対応訓練支援について、訓練計画の策定、シナリオ作成、関係者調整、訓練運営、評価および結果報告のうち、受託者に求められる実施範囲をご教示ください。また、年間の想定実施回数もご教示ください。	訓練計画の策定、シナリオ作成、関係者調整、訓練運営、評価および結果報告に係る受託者の実施範囲ならびに年間想定回数を明記いただきたい。 必要なスキル要件、体制および工数を適切に見積もるため。	年1回の想定です。 計画段階より参画いただき、訓練が円滑に実施できるための事前準備、当日の訓練対応等の実施を想定しています。